

今月の『一読あれ』

## 年中行事に思いを馳せる

年が明け、新しい一年が始まりました。ところで、皆さんにも身近な年中行事、冬に多いことにお気づきでしょうか。古来から冬に人々は来年の収穫と幸福を祈り、その様子は、東西、様々な行事に今も残っています。今月の一読あれは、日本とヨーロッパの年中行事に関する本を集めました。年の初めに、いつもより深く行事のルーツに触れてみませんか？



### 日本の祭り・年中行事

『**祭り日本人：信仰と習俗のルーツを探る**』宇野正人著 386.1/Ma86 2F小型本  
日本の祭りの源流をたどり、日本人にとって祭りとは何かを問いかけています。あみだくじやワッショイのかけ声など、おなじみの習俗のルーツも登場。自分たちの文化について、深く知ることができる一冊。

『**「まつり」の食文化**』神崎宣武著 386.1/Ka59 2F和図書A  
正月と盆、節供（節句）と節分、春祝いと秋まつり。日本の年中行事を紹介しながら、それらに欠かせない「食」の存在とそのゆえんについて、丁寧に解説しています。

### ヨーロッパの祭り・年中行事

『**図説・ヨーロッパの祭り**』谷口幸男・遠藤紀勝著 386.3/Ta87 2F和図書A  
ヨーロッパの祭りを冬のはじまりから夏の終わりの順に、豊富な写真とともに紹介。出てくる異形の仮面の数々は、恐ろしげなものからユーモラスなものまで多彩で、一見の価値有り。

『**ヨーロッパの祭と伝承**』植田重雄著 368.3/U32 2F小型本  
ヨーロッパの習俗に関心がある人におすすめです。祭りをとおして、キリスト教と民間習俗が重なり合っていてきているヨーロッパの文化の様子や、そこに暮らす人々の季節観がわかります。

### 個々の行事のルーツ

『**12月25日の怪物**』高橋大輔著 386/Ta33 2F和図書A  
私達に身近なサンタクロースのイメージはどこから来たのでしょうか？その起源をたずねて著者は、トルコ、欧州、アメリカ、さらに日本、中国へと旅します。実像に迫っていくノンフィクション。

『**サンタクロースの秘密**』クロード・レヴィニストロース、中沢新一著 386/L57 2F和図書A  
1951年、サンタクロースが火あぶりにされたというニュースがフランスを駆け巡りました。この衝撃的な出来事背景には、何があるのでしょうか。二人の人類学者が、冬のお祭りの秘密を解き明かします。

『**ハロウィーンの文化誌**』リサ・モートン著 386/Mo79 2F和図書A  
元々は新年の祝祭だったのが今や世界的に広まったハロウィーン。歴史、商業的側面、各国の違いなど、多角的に知ることができます。



3F中央ホールで展示中！ 貸出できます